

都島だより

発行責任者

都島クラブ代表 (E35)

芳仲 宏

一般社団法人浪速工業会
都島クラブ会報

2018年(平成30年)7月 第57号

事務局 馬江 治喜

〒234-0056

横浜市港南区野庭町696-6

TEL045-841-8885

E-mail har1942umae@iris.ocn.ne.jp

題字デザイン A28(故)岡田宏三氏

NEWS57号

一般社団法人浪速工業会・都島クラブ・現在会員数 ◆ 合計470名

◆M・機械92、ME・機械電気25名◆A・建築80名◆E・電気・電子工学158名◆C・土木・都市工学39名◆C I・工業化学・理数54名◆L・普通12名◆工専10名

平成30年度
浪速工業会・都島クラブ
代表挨拶

E35 芳仲 宏

本年5月の総会にて一般社団法人浪速工業会都島クラブ代表を仰せつかりました芳仲宏です。何卒、宜しくお願いします。

今から5年程前、正確には2013年2月1日(金曜日)に、浜松町東京會館で、青嵐会(電気科)の懇親会があり、たまたま出席したら、有無を言わずに、関東浪速工業会の幹事会に出る言われましました。それまで、正直申し上げて、関東浪速工業会の総会にも、タイミングが合えば出席する程度でした。都工卒業以来、総合商社のIT部門で働き、その専門性を活かして、現在も、東京地裁、東京簡裁の民事調停委員(IT分野)、東京地裁の専門委員(IT分野)として、東京地裁を中心に、各地の裁判所にて、IT紛争の調停・裁判に関与しており、世間に役立つ仕事が出来て、都島の卒業生として、誇りを感じています。

さて、これからの話ですが、幹事会に参加した当初は、右も左もよく分かりませんでした。次第に内情を知るにつけ、何時か、都島クラブも崩壊を迎える時期が来るだろう。それなら、今の間に、解散への道筋をつける方策を探るのが良いのではと思いました。しかし、幹事会で、各科の幹事の皆様が、献身的に都島クラブの運営に、協力されている姿を拝見し、また、「Mニュース都だより1〜50号記念冊子」を拝

見している内に、考えが変わりました。現時点では、是が非でも、存続させるのだとの気持ちが強くなっています。関東在住の卒業生が参加主体となる都島クラブの今後の運営も、総会出席者、幹事会の幹事様がおられる限り、「大丈夫!これから始めるのだ!」との気持ちで、皆様で支え合うことが大切かと思えます。そのためには、華々しい活動を追い求めるのではなく、「継続は力なり」で、従来の延長線上で、皆様方のご協力を得て、都島クラブを存続させる方途を探りたいと思います。会員諸氏も、都島クラブの行事に参加されれば、何か、新しい発見があると思えます。私も、昨年、関東青嵐会主催【水郷佐原 古い町並みが残る小野川沿いの散策】に参加して、冷たい雨に打たれながら、感慨深いものがありました。

過去2年間建築科・昭和57年卒の信原様が代表として、都島クラブの運営に尽力され、「都島クラブ技術を語る夕べ」(略称MMS)を、新機軸として、立案実行されました。都島の卒業生は多種多様な人生を過ごされています。その人生談を伺うだけでも、後輩の皆様には、これからの人生の縁(よすが)となるのではと思います。今後、MMSの発展形として、都島クラブの全員が、気楽に、何かを話す場として、MMSを利用すれば良いと思います。例えば、「会社生活を振り返って」、「私のいままっていること」、「私の健康法」等々、恥も外聞も捨てて、何でも話してみることが、大切かと思えます。格調高い代表就任挨拶を述べることは出来ませんが、少しでも、前向きになれる話とを考えましたが、紙面が尽きましたので、これで終わりとさせていただきます。

平成29年度浪速工業会・都島クラブ 総会開催報告

事務局より

平成30年5月19日(土)新宿・住友ビル47階住友クラブにて浪速工業会・都島クラブの総会が開催され、本年度の役員が左記の通り選出・就任されました。

代表 E35 芳仲 宏氏
副代表 C I 40 菅家 亘通氏
会計監査 M E 40 松本 良治氏

会計・行事報告等、総会議事は滞りなく終了し、来賓ご挨拶の後、大阪よりお越しいただいたE57久保田弘氏(第55次日本南極地域観測隊・通信担当)による南極に関する特別講演があり、スライド・動画などを用いて判りやすくレクチャーしていただきました。集合写真を撮影した後、懇親会がスタート、歓談中には久保田氏は南極への質問に対し、詳しい説明で答えていただき、皆で南極の水には驚き、和やかな雰囲気での閉会となりました。

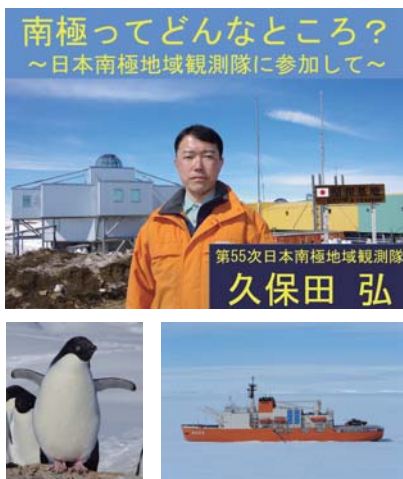


平成29年度 都島クラブ総会 参加者集合写真

【報告】 都島クラブ平成29年度 総会・特別講演

『南極ってどんなところ?』

E 36 石垣 英明



都島クラブの通常総会が平成30年5月19日(土)新宿住友ビル47階の住友クラブで開催された。行事報告・行事予定及び会計決算について審議がなされ承認された。続いて役員改選が行われ、E35の芳仲宏氏が平成30年度代表に、副代表にC140の菅家亘通氏が選出された。浪速工業会嶋田理事長、大内学校長から来賓御挨拶を賜り、総会は滞りなく終了した。総会に続いて、第55次日本南極地域観測隊 通信担当として、南極・昭和基地に赴任された久保田 弘氏(E57)による特別講演が催された。久保田氏は平成25年11月から平成27年3月までの約1年4か月間、昭和基地で無線局の運用、無線設備の保守などの任務にあたられた。

昭和基地は日本から約14000キロメートル離れた場所に位置しており、昭和32年に開設された。気温はときにはマイナス40℃にまで下がる。極寒の地での任務は大変ご苦労なことが多かったと思うのですが、仲間と一緒に楽しく仕事



ができた喜びを語られました。南極の自然の素晴らしさ、昭和基地周辺の生き物(アザラシ、ペンギン等)、昭和基地での日常生活、昭和基地の施設・通信の仕事、休日の過ごし方などを、ビデオの上映とあわせて、わかりやすくプレゼンテーションして頂いた。小学生の頃の南極へ行ってみたいという夢が叶い、南極を自分の目でみて、自分の足で歩いて、いろいろ体験できたこと、昭和基地での1年以上にわたる任務を無事に果たしたこと、そしてなによりも観測隊員の仲間達との強い絆を持てたことが自分の人生の最高の宝物になっていると熱く語られた。講演後、南極から持ち帰ってきた氷の体験をした。南極大陸の氷は、いまから約1万年〜2万年前に降った雪が固まってできた氷が氷河となって海水上に流れ落ちたものです。割った氷をグラスに入れ水を注ぐとプチプチと音をたてながら太古の空気がはじけ出る水体験をしました。懇親会では出席者から久保田氏の体験談について質問がとびかい、南極地域観測に関する最新の動向についてより一層の理解を深める事が出来、大変有意義な総会であった。改めて貴重な体験談をお話頂いた久保田氏に感謝いたします。



E57久保田氏(左)と質問をするE36石垣氏(右)



南極の水でのオンザロック!



都島クラブ総会・懇親会での スナッパ写真

2018年5月19日(土)開催



袋田の滝

カメラもフィルム式よりデジタルへと移行になり三年前より又写真撮影を始めました。調布市のフォトCOSMOSの会員になり写真を楽しんでおります。サークルの月に一度の撮影会、個人でも関東近郊へ出掛け撮影し被写体は主に風景と花です。春の展示会、秋には調布市民文化祭に作品を数点出展。デジタルカメラは失敗しても消去すればよいので、多くのアングルを撮り良いものを選択できるのも楽しみの一つです。これからも健康維持(歩く)も兼ねて撮影を続けたいと思っています。



カキツバタ



E 36 笹治 博司

デジタル一眼レフを楽しむ



MMS 04 報告

MIYAKOJIMA
CLUB
MEETING
SALON

第4回 MMS
開催日: 2018年3月2日(金)
題名: AIの展望
講師: MEH16 岡崎 彰氏
参加者: 16名

「AIの展望」を聴講して

E35 芳仲 宏

平成30年3月2日(金) MEH16年卒岡崎彰氏による「AIの展望」をテーマに、「最新のソフトウェア開発についてプレゼンテーション」をされるとの案内があった。現在、東京地方裁判所でIT関連の民事調停委員、専門委員をしている関係で、AIに関連したIT紛争事件も扱っている。元々、人工知能、翻訳技術に興味があったので、「AIの展望」というタイトルに惹かれて、是非とも、聴講をしようと考えていた。

当日、電気科の卒業生と、「昔は、弱電と強電の分類しかなかったなあ。」と話しながら、岡崎氏の講演を待った。自己紹介から始まって、AIの仕組み、AIの技術動向と続き、「ニューラルネットワーク、ディープラーニングの説明」が行われた。

敢えて、AIを説明すると次の様になる。AIのベースとなるのは、機械学習である。コンピュータプログラムで、全ての動作をプログラムするのではなく、AI自身がデータを解析して、一定の法則・ルールを見出して、タスクを実行する。いわば、機械学習は、反復トレーニングに相当する。ニューラルネットワークでは、人間の脳機能をコンピュータによるシミュレーションによって表現される数学モデルで、たかだか3層程度であ

るのに対して、ディープラーニングは、多層のニューラルネットワークの機械学習とも言える。「(通常、ニューラルネットワークは神経回路網と訳される。ディープラーニングも神経回路網に相当する情報処理システムで、自ら学習し、深層学習と言われる。)」

人工知能の議論が高まり、アルゴリズムの研究も進んだが、それを実行するコンピュータ能力(メモリー、スピード等)の限界で、人工知能の夢と現実の成果とのギャップが大きく、一時、行き詰まった時代があった。しかし、コンピュータ技術の驚異的な進展で、AIを搭載した機器、AI技術の活用で、第3次AIブームが到来し、今回の岡崎氏のMMS講演も時宜を得たものであった。講演会後の懇親会の席上、岡崎氏は、「今日は緊張の連続で、講演が終わってホットした。」と語っておられたのが印象に残っている。講演の中で、2本の脚と腕、胴体、頭で構成されたボストン・ダイナミクス社(BOSTON DYNAMICS)の人型ロボット・Atlasが、雪の中を歩行したり、荷物を棚に収納したりする映像が紹介された。このロボットは、レーザー光による距離計測センサ、ステレオ画像センサを搭載し、周囲の状況を認識している。(BOSTON DYNAMICS社では、四足歩行ロボットの研究でも有名で、2017年6月にソフトバンクグループが買収することを発表している。)

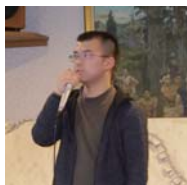
講演の後、参加者から、自動運転ソフトウェアの開発、AIの参考書、感情を持ったロボットの開発等の話題が出た。人間の知的活動の全てを数式化することが、果たして可能なのだろうか。私は、「否」と考える。特定の、限られた局面の近似値は実現できても、人間にしかできない

部分は存続することに救いを見出している。懇親会の席上で、大ロボットの「アイボ」を買いたいとの話が出ていた。「アイボ」を相手に、学習機能を繰り返させて、しつぽを振らせれば面白いし、可愛いさが募ってくるのであろうが、別の見方をすれば、「アイボ」の飼い主の行動パターン情報が、「アイボ」に蓄積されて、「飼い主の人間性の推測モデル」が形成されるかもしれない。今後、ますます、音声認識、画像認識技術が進歩して、機器に組み込まれていけば、誰もAI搭載の〇〇と言わない時代になるだろう。既に、部分的には、その様な時代に、突入している。講演の最後に、参加者から、「AIの参考本はないか」の質問に対して、「人工知能超入門」・松尾豊、「AI白書2017」・独立行政法人情報処理推進機構を挙げておられたのを記して、本稿を終わりとします。



第4回MMSの様子

『AIの展望』



講演中のMEH16岡崎氏

【第5回都島クラブ・技術を語るタベ】開催のご案内

MMS実行委員会

第5回MMSを左記の通り開催致します。先輩や後輩が技術を題材としたこれまでの経験、伝承したいことを語り、後輩においては各分野での現状報告や最新の状況を先輩に伝えることを目的とし会員の親睦を図ります。ミーティング終了後は付近での懇親会を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

講師 M36 西村 功氏

内容 40年前の中国ビジネス
ニーハオからザイツェンまで

開催日 9月21日(金) 18時30分〜20時30分

開催場所 六甲クラブ(帝劇ビルB2F)

会費 2000円(懇親会費別)

申込締切 8月31日(水)

申込方法 事務局・馬江まで科、卒年、氏名を電話又はEメールにて御申込み下さい。

TEL 080-6516-7576

Eメール har1942uma@iris.ocn.ne.jp

MMS 05 ご案内

40年前の中国ビジネス
ニーハオからザイツェンまで

2018年9月21日(金) 18:30開催



M36 西村 功氏

西村 功氏 略歴
1961年 都島工高機械科卒業 同年 三菱重工業(株)に入社、神戸造船所に配属
1972年 本社(新田町ビル)に転勤、火力発電プラントの受注活動と基本計画業務
1973年 初めての海外出張(中国)以降10数プラントの中国案件に参画
2015年 退職

都島クラブ

秋の散策会のご案内

M36 西村 功

MMS 連動企画



第2回MMSで講演していた
M32卒 貞弘 長昭
氏の案内による横浜の散
策を企画しました。

YOKOHAMA

「横浜事始め・科学技術からみた文明開化」をテーマとしてJR桜木町駅周辺から市内を散策して、明治維新から新しい文明開化が導入された跡地を訪ねる計画です。

開催日時 10月26日(金) 午後1時集合

集合場所 JR桜木町駅(関内側の改札出口)

★散策経路 鉄道発祥の地・記念碑(塔)、金星太陽面通過観測記念碑、県立音楽堂(設計・前川国男)、最初のガス会社、ガス灯、近代水道と英人パーマー、ペリーが持ち込んだ無線機、生糸センター跡、ドックと日本丸、日本初のコンクリート建築、初の西洋式灯台と英人・ブランドンの功績、初のアイスクリーム、最初の写真館、横浜正金銀行(現在は県立博物館)など 約3時間散策予定。(散策見学の案内は、M32貞弘長昭さんにして頂きます)

★懇談会(自由参加。不参加の方は自由解散) 横浜中華街の歴史と食文化。午後5時半頃JR石川町駅にて解散予定。

参加費 無料。

但し博物館などの入館料・資料代500円、1000円及び食事代等は各自負担。

申込締切 8月31日

申込方法 懇談会への出欠を添えて左記、事務局・西村 功まで。

住所 横浜市中区上白根2丁目35-15

電話 045-953-4726

Eメール isao.nishimura@mbp.nifty.com

(なるべくEメール又は葉書で連絡下さい)



昨年の陶芸会参加者



昨年の作品(焼成後)



9月8日(土) 陶芸会



A46柚木氏が主宰くにたち自游工房

①『陶芸会』
開催日時 9月8日(土) 13時より17時30分
終了後、工房にて懇親会開催予定
開催場所 国立市『くにたち自游工房』
会費 7,000円(懇親会費含む)

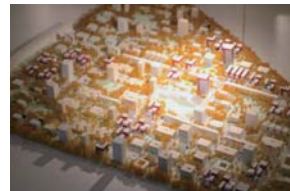
関東青薔会の本年の催しは『陶芸会』と『建築倉庫ミュージアム見学』の二本立てで企画しました。陶芸会は例年通り陶芸家A46卒 柚木 寿雄氏の工房にて開催します。両企画とも他科の皆さん及び同伴者の参加も大歓迎です。奮ってご参加下さい。

青薔会

関東青薔会催しへのお誘い

A37 森 芳信

②『国内唯一の建築模型専門展示・保存施設『建築倉庫ミュージアム』の見学』



11月10日(土) 建築倉庫ミュージアム見学

上方落語会で活躍中の桂 米左(A59木村 佳氏)恒例の東京公演は今年で連続21年目になります。例年行っている浅草見番に加えて、昨年より調布文化会館でも公演しています。今年の公演予定を左記に記載いたしますので、多数のご参加をお願い申し上げます。

桂米左 独演会



桂米左東京公演のお知らせ

事務局より



開催日 11月11日(日) 14時開演

開催場所 浅草見番(台東区浅草3-33-5)

開催日 11月12日(月) 14時開演

開催場所 調布文化会館・たづくり8階・映像シアター(京王線・調布駅南口徒歩5分)

料金 金 前売り2500円・当日3000円

お問い合わせは 事務局・馬江まで 科、卒年、氏名、参加予定人数を電話又はEメールにてお問い合わせ下さい。

TEL 080-6516-7576

Eメール har1942umae@iris.ocn.ne.jp

申込期限 11月5日(月)迄

会費 入場料(一般3000円)及び懇親会費は各自負担
所在地 東京都品川区東品川2-6-10

★申込方法(①・②共通)

申込締切 ①8月25日(土)

②10月25日(木)

申込方法 催し名・卒科・年・氏名をFAX

又はEメールにてA37森 芳信まで

FAX 04-7184-8443

Eメール 3tree-yoshi@jcom.home.ne.jp

(集合場所等詳細はお申込み受付後案内します)

他科の方及び同伴者も歓迎します。奮ってご参加下さい!

訃報

M16年卒	若狭	仙治氏	2017年10月3日
M15A年卒	金田	一誠氏	2017年12月8日
M20年卒	岡野	幸夫氏	2017年12月1日
M38年卒	猪川	隼氏	2018年1月6日
E28年卒	永井	備三氏	2017年4月7日
E29年卒	小林	孝栄氏	2018年6月6日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

次号のMニュースは平成31年1月発行予定です。

皆様の原稿をお待ちしています!事務局までお送り下さい。